

令和5年度 日本大学自主創造プロジェクト

## 日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2023018

プロジェクト名 KIMONO カフェ 1000 プロジェクト

## プロジェクトの概要

東京オリンピックの影響もあり、日本の文化が世界で注目されている。それらに関する情報はネットを通じていくらかでも集められる状況にあるが、モノ消費からコト消費にシフトしてきている今、今後見込める来日外国人に私たち若者が、日本の伝統的文化の一端を発信する準備が必要であると考えた。そこで、呉服屋の孫であり、着付け師の娘である生い立ちを活用し、若者が少しでも和服に触れる機会を創るプロジェクトを実施した。

## プロジェクトの結果・成果

来店者数について、1日40人、25日の営業で1,000人という目標を掲げていたが、平日は10人強、休日は30人から50人弱となった。

しかし、店舗の前を歩いて来店してくれる方や、商店街で店を構えている方、毎日いらしてくれる方などと話をし、「落ち着く新しい居場所」としてUTIKAKEが中野で愛されていたことを実感できた。

売上の観点から見ると、9月1日から10月2日までの計22日間で405,330円は満足いく結果だった。後半、気温が下がったことでホットラテの注文が増え、ラテ系は他の茶類よりも100円ずつ単価が高いため、来店者数とは比例せず売上が上がるようになった。また、お客様との会話の中で、営業日に祭りがあることを知り急遽、ラムネを祭り価格に変更し、ディスプレイを作ったり、二日間限定でフランクフルトを販売したりと、臨機応変に対応できたことも売上に繋がった。このように、スタッフ自らが出したアイデアがプラスの結果になったという経験から、メンバーの意識が上がったことも良い点だった。

「若者が和服に触れる機会を創りたい」という目標については、大きな手ごたえを感じた。客層として若い層は少なかったものの、スタッフ達の和服に対する意識が変わったことが個人的には嬉しかった。スタッフは毎回自分で浴衣を着て、着崩れないよう工夫したり、浴衣に合わせてヘアメイクを楽しんだり、徐々に気持ちが変わっていく様子が見られ、呉服屋の孫として誇らしく感じた。

このプロジェクトを通して、着物に関して情報発信するだけでなく、4年間学んできたことをアウトプットする場を設けてくれて、支援までしてくれた大学には心から感謝している。この経験を忘れず、いつか食品ビジネス学科に恩返し出来るような経営者になりたい。

## 活動写真

